

## 平成30年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：包括的地域連携緩和医療学講座

所 属 長：細川 豊 史

### 1 共同研究講座の目的

がん診療を実施している地域中核病院である済生会滋賀病院をモデルに、地域における包括的地域緩和ケア連携を積極的に促進するために必須となる緩和ケア担当医師、がん看護の専門看護師・認定看護師、社会福祉士等の育成、また医療従事者に対する「がんと診断された時からの緩和ケア」の普及・啓発のみならず、大学等の教育機関とともに、地域病院での臨床実習などを組み込んだ緩和ケアの実践的な教育プログラムの作成、さらに医師の卒前教育を担う教育指導者や緩和ケア専門とする医師を育成するための教育等の実施方法について共に研究を行うこと。

### 2 報告年度に係る取組状況

これまでの研究期間において、モデル病院における基本的緩和ケアの普及と啓発事業を行うと共に、専門的緩和ケアを展開してきた。平成30年4月には緩和ケア内科を設立し、外来診療、緩和ケアチーム回診を行うことで、オピオイド処方や神経ブロックを用いた疼痛治療と緩和ケア診療を実施している。

### 3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

大西佳子、細川豊史. 緩和医療学の変遷と非がん疾患の緩和. 実践から識る心不全緩和ケアチームの作り方. 大石醒悟、柴田龍宏、高田弥寿子編. 東京、南山堂 2018. 7. 1

大西佳子、細川豊史. 緩和医療学の変遷と非がん疾患の緩和ケア. 実践から識る！心不全緩和ケアチームの作り方. (大石醒吾他 編), 南山堂, 東京, pp2-7, 2018.

権 哲, 細川豊史. 医局で取り組んでいる男女共同参画一京都府立医科大学疼痛・緩和ケア医療学教室の場合一. ペインクリニック vol139, 2. 真興交易, 東京: pp147-52, 2018, 2.

山代 亜紀子, 細川 豊史. 非がん性慢性疼痛治療における医療用麻薬の適正使用と乱用防止, ファルマシア 54(6), 538-540, 公益社団法人 日本薬学会, 2018

山代 亜紀子, 細川 豊史. がん疼痛治療の長期化とその問題点, 医学のあゆみBOOKS ペインクリニック診療 38のエッセンス, 180-183, 医歯薬出版, 2018. 7

志真泰夫, 恒藤暁, 細川豊史, 宮下光令, 山崎章郎, 田村恵子編集. ホスピス緩和ケア白書2018 がん対策基本法—これまでの10年 これからの10年—. 東京、青梅社2018. 4. 7

天谷文昌, 松田愛, 山口陽輔, 山北俊介, 松岡豊, 山下理比呂, 堀井靖彦, 竹村瞳. 遷延性術後痛のメカニズム 末梢神経から中枢神経まで. 麻酔 67: 242-47, 2018.

権 哲, 細川豊史. お互いのワーキングバランスを尊重する医局づくり 3. 医局で取り組んでいる男女共同作業—京都府立医科大学疼痛・緩和医療学教室の場合—. ペインクリニック39(2). 2147-15, 2018

山代亜紀子, 細川豊史. 非がん性慢性疼痛治療における医療用麻薬の適正使用と乱用防止. ファルマシア54 (6) : 538-540, 2018

細川豊史. 麻酔科医にとっての緩和ケア. 麻酔67巻増刊号、2018 s 126-135

原田秋穂, 細川豊史. キャッチ！オンコロ・トレンド：終末期がん患者における鎮静の“今”. YORi-SOUがんナーシング8 (3), 272-273, 2018.

Matsuda M, Takemura H, Yamashita A, Matsuoka Y, Sawa T, Amaya F. Postsurgical chronic pain and quality of life in children operated for congenital heart disease. *Acta Anaesthesiologica Scandinavica*. In press.

Yamaguchi Y, Oh-hashii K, Matsuoka Y, Takemura H, Yamakita S, Matsuda M, Sawa T, Amaya F. Endoplasmic reticulum stress in the dorsal root ganglion contributes to the development of pain hypersensitivity after nerve injury. *Neuroscience* 394: 288-299, 2018.

Amaya F. A good beginning makes a good ending: association between acute pain trajectory and chronic postsurgical pain. *J Anesth* 32: 789-791, 2018.

Takemura H, Fujita D, Matsuda M, Fujita K, Sakaguchi M, Amaya F. Peripheral nerve block combined with general anesthesia for lower extremity amputation in hemodialysis patients: case series. *JA Clinical Reports* 4: 77, 2018.

Okamoto A, Yamasaki M, Yokota I, Mori M, Matsuda M, Yamaguchi Y, Yamakita S, Ueno H, Sawa T, Taguchi T, Hosokawa T, Amaya F. Classification of acute pain trajectory after breast cancer surgery identifies patients at risk for persistent pain: a prospective observational study. *J Pain Res* 11: 2197-206, 2018.

Yamakita S, Horii Y, Takemura H, Matsuoka Y, Yamashita A, Yamaguchi Y, Matsuda M, Sawa T,

Amaya F. Synergistic activation of ERK1/2 between A-fiber neurons and glial cells in the DRG contributes to pain hypersensitivity after tissue injury. *Mol Pain* 14: 1744806918767508, 2018.

Sugiyama Y, Iida H, Amaya F, Matsuo K, Matsuoka Y, Kojima K, Matsuno F, Hamaguchi T, Iseki M, Yamaguchi K, Takahashi Y, Hara A, Sugawara Y, Kawamata M, Tanaka S, Inagaki Y, Otsuki A, Yamazaki M, Ito H. Prevalence of chronic postsurgical pain after thoracotomy and total knee arthroplasty: a retrospective multicenter study in Japan (Japanese Study Group of Subacute Postoperative Pain). *J Anesth* 32: 434-38, 2018.

Oh-Hashi K, Sugiura N, Amaya F, Isobe KI, Hirata Y. Functional validation of ATF4 and GADD34 in Neuro2a cells by CRISPR/Cas9-mediated genome editing. *Mol Cell Biochem* 440: 65-75, 2018.

Norisada J, Fujimura K, Amaya F, Kohno H, Hirata Y, Oh-Hashi K. Application of NanoBiT for monitoring dimerization of the Null Hong Kong variant of alpha-1-Antitrypsin, NHK, in living cells. *Mol Biotechnol* 60: 539-49, 2018.

Kanbayashi Y, Ishikawa T, Kanazawa M, Nakajima Y, Tabuchi Y, Kawano R, Yoshioka T, Yoshida N, Hosokawa T, Takayama K, Taguchi T. Predictive factors for the development of irinotecan-related cholinergic syndrome using ordered logistic regression analysis. *Medical Oncology* (2018) 35:82 <https://doi.org/10.1007/s12032-018>

Kanbayashi Y, Inagaki M, Hosokawa T. Predictors of the usefulness of duloxetine for chemotherapy induced peripheral neuropathy.

Okamoto A, Yamasaki M, Yokota I, Mori M, Matsuda M, Yamaguchi Y, Yamakita S, Ueno H, Sawa T, Taguchi T, Hosokawa T, Amaya F. Classification of acute pain progression by group-based trajectory modeling identifies patients at risk for persistent pain after breast cancer surgery. A prospective observational study.

*Journal of Pain Reserch*. 2018;11:2197-2206

細川豊史. (厚生労働省がん対策推進協議会 委員) 厚生労働省 第三期 がん対策推進基本計画 2018.3

小川隆, 高橋義信, 山中巧, 天谷文昌, 佐和貞治, 酒井晃二, 山田恵, 上野大介, 阿部能成, 近藤正樹, 水野敏樹, 橋本直哉. 覚醒下手術を用いて摘出した機能領域近傍グリオーマの2例. *京都府立医科大学雑誌*. 127: 451-58, 2018.

細川豊史. 教育講演; 緩和ケアにおける薬剤師の重要な役割—オピオイド鎮痛薬の正しい使い方を

中心に一. 近畿薬剤師合同学会大会, 2018. 2. 4, 京都.

細川豊史. 教育講演. 緩和ケアにおける薬剤師の重要な役割—オピオイド鎮痛薬の正しい使い方を  
中心に一. 近畿薬剤師合同学会大会2018. 2. 4 京都

細川豊史. 教育講演. 緩和ケアにおける薬剤師の重要な役割—オピオイド鎮痛薬の正しい使い方を  
中心に一. 近畿薬剤師合同学会大会2018. 2018. 2. 4, 京都

細川豊史. 特別講演, 緩和ケアとチーム医療そして緩和ケア病棟の運営について. 第1回栃木南がん  
・緩和ケア懇話会. 2018. 5. 11. 栃木

細川豊史. 招請講演, 麻酔科医にとっての緩和ケア. 日本麻酔科学会第55回学会. 2018. 5. 18,  
横浜.

T. Hosokawa. Health Care System & Relations of a Doctor and the patients in Japan中国疼痛医  
学大会 (河南省鄭州市) 2018. 7. 14

T. Hosokawa. The History and Present Status of Palliative Care Medicine in Japan. The 15th  
Asian Australasia Congress of Anaesthesiology 2018. 11. 03 China(Beijing)

細川豊史. 基調講演, これからの疼痛治療—All Japanで未来に向かう—. 第11回日本運動器疼痛学  
会 2018. 12. 1 滋賀

細川豊史. 教育講演7, プライマリーケアに役立つ痛みの話—正しい疼痛治療のために—, 第32回日  
本プライマリーケア学会近畿地方会2018. 12. 2京都Ⅱ)

天谷文昌. 神経障害性疼痛 定義や概念を再確認する. シンポジウム; ニューロパシクペインへ  
の挑戦. 日本ペインクリニック学会第52回大会, 2018, 東京.

大西佳子, 細川豊史. オンコロジーエマージェンシーの診断. 日本ペインクリニック学会第52回大  
会, 2018. 7. 20, 東京.

細川豊史. 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動, 市民公開講座: もっと知ろうよ! 緩和ケア.  
生命を脅かす病気と診断されたときからの緩和ケアの必要性と重要性について. 2018. 1. 14 東京

細川豊史. 痛みでお悩みのあなたのために. 洛和会市民講座2018. 11. 21 京都

Matsuoka Y, Amaya F. NLRP2 inflammasome contributes to the ceramide-induced hyperalgesia.  
17th World Congress on Pain. 2018 September 12-16; Boston, USA.

Yamashita A, Amaya F. Dysregulation of p53/parkin pathway involves methylglyoxal induced pain  
hypersensitivity. 17th World Congress on Pain. 2018 September 12-16; Boston, USA.

Horii Y, Amaya F. Peripheral mechanism mediated by p38MAPK phosphorylation involves in the  
remifentanil induces immediate hyperalgesia. 17th World Congress on Pain. 2018 September

12-16; Boston, USA.

Takemura H, Amaya F. G protein-coupled receptor kinase 2 contributes resolution of acute pain hypersensitivity after the tissue injury. 17th World Congress on Pain. 2018 September 12-16; Boston, USA.

大西佳子, 細川豊史, 上野博司, 深澤圭太, 山代亜紀子, 波多野貴彦, 原田秋穂, 仲宗根ありさ, 堀江里奈, 茅野綾子. 当院における上腹部内臓痛に対する腹腔神経叢ブロックの検討. 第23回日本緩和医療学会学術大会, 2018. 6. 15, 神戸.

原田秋穂, 細川豊史, 深澤圭太, 上野博司, 谷口彩乃, 山代亜紀子. 三叉神経痛に対し五苓散が著効した一症例. 第52回日本ペインクリニック学会, 2018. 7. 20, 東京.

原田 秋穂, 堀江里奈, 権哲, 永井義浩, 岡本明子, 細川豊史. 「せん妄?」と疑ったが, アカンジアであった一症例. 第23回日本緩和医療学会, 2018. 6. 15, 神戸.

権 哲, 細川豊史, 深澤圭太, 上野博司, 山代亜紀子, 波多野貴彦. 悪性リンパ腫寛解後の非がん慢性疼痛でオピオイド依存離脱後にケミカルコーピングを呈した一例. 第47回日本慢性疼痛学会. 2018, 2, 16, 大阪市.

権 哲, 西村美弥子, 北野香苗, 今井伸也, 山極恒平, 伴正, 赤澤昌代, 日置康志, 野土信司, 三木恒治, 細川豊史. 調剤薬局の薬剤師と緩和ケアチームスタッフの顔の見える関係作りの促進. 第23回日本緩和医療学会学術会, 2018, 6, 15, 神戸市.

谷口彩乃, 深澤圭太, 細川豊史. トラマドール常用量投与によるセロトニン症候群. 日本ペインクリニック学会 第52回大会, 2018. 7. 20, 東京

波多野貴彦, 古川皓一, 細川豊史. 身体表現性疼痛と疑った胸部痛の原因が肺がんであった1症例. 第47回 慢性疼痛学会, 2018. 2. 16, 大阪

波多野貴彦, 深澤圭太, 細川豊史. 同一患者に複数回内臓神経ブロックを施行した4症例についての安全性、有効性の検討. 第52回 日本ペインクリニック学会, 2018. 7. 20, 東京

岡本明子, 上野博司, 堀江里奈, 永井義浩, 仲宗根ありさ, 藤原 恵, 波多野貴彦, 山代亜紀子, 谷口彩乃, 原田秋穂, 細川豊史. 不適切な使用によって、がん患者に生じたフェンタニル依存をブプレノルフィンで離脱できた一例. 第22回 日本緩和医療学会 学術総会 2018. 6. 15, 神戸

岡本明子, 天谷文昌, 細川豊史. 術後急性痛のtrajectoryと術後慢性痛の関連性についての検討. 第52回 日本ペインクリニック学会 学術総会 2018. 7. 21, 東京

永井義浩, 谷口彩乃, 細川豊史. 末梢神経持続注入法で難治性下肢疼痛の緩和を図った悪性リンパ腫の一例. 日本緩和医療学会第23回大会, 2018. 6. 15, 神戸.

永井義浩，細川豊史．ポルフィリン症の疼痛管理 骨髄性プロトポリルフィリン症の1症例を経験して．日本ペインクリニック学会第52回大会， 2018. 7. 20， 東京．

堀江里奈，深澤圭太，上野博司，細川豊史．入院加療の帯状疱疹に対する硬膜外カテーテル留置方法の後ろ向き検討．日本区域麻酔学会第5回学術集会，2018. 4. 14， 大阪．

堀江里奈，山代亜紀子，原田秋穂，上野博司，細川豊史．大量のミダゾラム投与を必要とした持続的鎮静症例について、その原因となる因子の検討．第23回日本緩和医療学会学術大会，2018. 6. 15， 神戸．

堀江里奈，細川豊史，岡本明子，山代亜紀子，上野博司．悪性皮膚腫瘍の洗浄処置時の痛みに対する薬剤使用の工夫．日本ペインクリニック学会第52回大会，2018. 7. 21， 東京．

細川豊史．生命を脅かす病気と診断された時からの緩和ケアの必要性と重要性について．厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 市民公開講座，2018. 1. 14， 東京．

原田秋穂．ペインクリニック・緩和ケアの紹介，鎮痛薬の使い方．関西医療分野横断研修会2018，2018. 9. 9， 京都．

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。